

NITE化学物質管理センターは、関係各省が実施したGHS分類結果を随時公表しています。

GHS関連情報ページで掲載している分類結果

- ・GHS危険有害性分類事業（GHS関係省庁連絡会議事業 平成18年度）……………約1500物質
- ・化学物質管理支援事業（厚生労働省委託事業 平成19年度）……………約150物質
- ・化学物質国際規制対策推進等事業（経済産業省委託事業 平成19年度）……………約50物質
- ・化学物質安全確保・国際規制対策推進等（化管法指定物質のGHS分類に関する調査）
（経済産業省委託事業 平成20年度）……………約90物質
- ・化学物質管理支援事業（厚生労働省委託事業 平成20年度）……………約370物質

「分類結果一覧」を
クリック

GHS関連情報

GHS関連情報サイトマップ

分類結果一覧	マニュアル類	支援ツール類	GHS関連 問合せ先一覧・ リンク集
GHS関連文書	関係各省 GHS関連事業	消費者製品リスク評価 ガイダンス	

GHS関連情報トップページ

物質ごとの分類結果を
HTMLで表示

「分類結果」を
クリック

GHS分類対象物質一覧 (1980物質)

H24.9更新

GHS関係各省庁の事業において分類が実施された物質のリストです。
「分類結果」欄をクリックすると、各事業ごとの物質の分類結果をhtml形式でご覧頂けます。
なお、モデルMSDSの内容については、[安全衛生情報センターのホームページ](#)をご覧ください。
化学物質総合情報提供システム(CHRP)では、GHS分類対象物質の検索ができます。是非ご利用下さい。

Gas No	対象物質名称	分類結果	実施主体 事業年度	モデル MSDSの 有無	備考
50-00-0	ホルムアルデヒド	Q	関係省庁連絡会議(平成18年度)	有	
50-01-1	グアニジン・塩酸塩	new	厚生労働省(平成20年度)	有	
50-06-6	5-エチル-5-フェニル-2,4,6-トリメチル-1,3,5-トリジン-2-スルホン	Q	関係省庁連絡会議(平成18年度)	有	
50-29-3	1,1,1-トリクロロ-2,2-ビス(4-クロロフェニル)エタン【D01】	Q	関係省庁連絡会議(平成18年度)	有	
50-32-8	ペンタヒドレン	Q	関係省庁連絡会議(平成18年度)	有	
50-78-2	アセチルサリチル酸	Q	関係省庁連絡会議(平成18年度)	有	
51-28-5	2,4-ジクロロフェノール	Q	関係省庁連絡会議(平成18年度)	有	
51-52-5	2,3-ジクロロ-6-プロピル-2-チオキソ-4,0-ヒドピリミジン	Q	関係省庁連絡会議(平成18年度)	有	
51-55-8	アトロピン	new	厚生労働省(平成20年度)	有	
51-75-2	ビス(2-クロロエチル)メチルアミン(4-トリエタニルマスタード)	Q	厚生労働省(平成19年度)	有	
51-79-6	クレタン	Q	関係省庁連絡会議(平成18年度)	有	
52-51-7	2-プロモ-2-ニトロプロパン-1,3-ジオール(原形モノノール)	new	厚生労働省(平成20年度)	有	
52-68-6	ジメチル=2,2-トリクロロ-1-ヒドロキシエチルホスホネート	Q	関係省庁連絡会議(平成18年度)	有	
53-70-3	ジベンゾ[b,h]アントラセン	Q	厚生労働省(平成19年度)	有	
54-11-5	ニコチン	Q	関係省庁連絡会議(平成18年度)	有	
54-64-8	テトラサール	Q	関係省庁連絡会議(平成18年度)	有	
55-18-5	N-ニコロジエチルアミン	Q	厚生労働省(平成19年度)	有	
55-38-9	チオリニル0,0-ジメチル-O-0-メチル-チオフェニル	Q	関係省庁連絡会議(平成18年度)	有	

分類結果一覧

関係各省がGHS分類をした物質
全てをCAS番号順で一覧表示

GHS分類結果 (関係省庁連絡会議 平成18年度事業)

対象: 5179901 (CAS番号: 302-01-0) | 分類結果項目: H360D2 (発育に対する有害性) (H373) (H374) | 登録マニュアル: GHS分類マニュアル(H18.210)

危険有害性項目	分類結果	シンボル	注意喚起用語	危険有害性情報	分類根拠・留意点
1 大気汚染	区分外	-	-	-	化学構造に、酸素を含まない還元性に関する原子団として、金属原子が、電子授け/分断できる。国産危険物輸送規則が、クラス、クラス、区501および502(国産番号2305)。
2 可燃性/引火性ガス	分類対象外	-	-	-	GHSの範囲における液体である。
3 可燃性/引火性エアゾール	分類対象外	-	-	-	エアゾール製品でない。
4 大気汚染/酸性ガス	分類対象外	-	-	-	GHSの範囲における液体である。
5 高圧ガス	分類対象外	-	-	-	GHSの範囲における液体である。
6 引火性液体	区分外		警告	引火性液体および蒸気	H202 H228による引火性は30°C(室温)であり、「区分外」に該当する。国産危険物輸送規則が、クラス、クラス、区501および502(国産番号2305)。

危険有害性項目	分類結果	シンボル	注意喚起用語	危険有害性情報	分類根拠・留意点
1 急性毒性(経口)	区分外		危険	吸入および有害	急性毒性(経口)のLD50はLD50: 60 mg/kg(CAIGT)であり、9000から区分外した。
1 急性毒性(経皮)	区分外		危険	皮膚と接触すると生命に危険	ラットで経皮LD50はLD50: 91 mg/kg(LD 50)であり、区分外した。
1 急性毒性(吸入) (ガス)	分類対象外	-	-	-	GHSの範囲による液体であるため、分類対象外とした。
1 急性毒性(吸入) (蒸気)	区分外		危険	吸入すると有害	ラットで吸入(個人曝露試験)のLD50はLD50: 14 mg/L(4時間) (IPPC)であり、0.0081から、計算を適用してLD50(4時間曝露)は0.011 mg/L(4時間)の値を示した。吸入反応は0.0002 mg/Lであり、4時間曝露(180分)における吸入反応(吸入)は0.0002 mg/Lであり、4時間曝露(180分)の値に適用されたため、区501に区分外した。LD50は0.0002 mg/Lであり、区501に区分外した。
1 急性毒性(吸入) (霧/エアロゾル)	分類対象外	-	-	-	ラットで吸入(個人曝露試験)のLD50はLD50: 14 mg/L(4時間) (IPPC)であり、0.0081から、計算を適用してLD50(4時間曝露)は0.011 mg/L(4時間)の値を示した。吸入反応は0.0002 mg/Lであり、4時間曝露(180分)における吸入反応(吸入)は0.0002 mg/Lであり、4時間曝露(180分)の値に適用されたため、区501に区分外した。LD50は0.0002 mg/Lであり、区501に区分外した。
1 急性毒性(吸入) (蒸気)	区分外		危険	吸入すると有害	ラットで吸入(個人曝露試験)のLD50はLD50: 14 mg/L(4時間) (IPPC)であり、0.0081から、計算を適用してLD50(4時間曝露)は0.011 mg/L(4時間)の値を示した。吸入反応は0.0002 mg/Lであり、4時間曝露(180分)における吸入反応(吸入)は0.0002 mg/Lであり、4時間曝露(180分)の値に適用されたため、区501に区分外した。LD50は0.0002 mg/Lであり、区501に区分外した。
1 急性毒性(吸入) (霧/エアロゾル)	区分外		危険	吸入すると有害	ラットで吸入(個人曝露試験)のLD50はLD50: 14 mg/L(4時間) (IPPC)であり、0.0081から、計算を適用してLD50(4時間曝露)は0.011 mg/L(4時間)の値を示した。吸入反応は0.0002 mg/Lであり、4時間曝露(180分)における吸入反応(吸入)は0.0002 mg/Lであり、4時間曝露(180分)の値に適用されたため、区501に区分外した。LD50は0.0002 mg/Lであり、区501に区分外した。

危険有害性項目	分類結果	シンボル	注意喚起用語	危険有害性情報	分類根拠・留意点
11 水生毒性(急性)	区分外		警告	水生生物に有害(強い毒性)	急性毒性(オオクチン)の48時間LC50はLC50: 100 μg/L(呼吸器)であり、2000から、区分外した。
11 水生毒性(慢性)	区分外		警告	長期曝露により水生生物に有害(強い毒性)	急性毒性(オオクチン)の10日間LC50はLC50: 100 μg/L(呼吸器)であり、2000から、区分外した。水生毒性(慢性)の10日間LC50はLC50: 100 μg/L(呼吸器)であり、2000から、区分外した。

GHS分類結果

GHS関連情報はこちらのアドレスからご覧ください。

http://www.safe.nite.go.jp/ghs/ghs_index.html (日本語版)

http://www.safe.nite.go.jp/english/ghs_index.html (英語版)